

2018年
(平成30年)
2月発行

宝同協だより

め ぼ 芽 生 え



編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号(宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内) TEL:0797-77-2040/FAX:0797-71-1891

2017(平成29)年度 人権・同和問題啓発作品入賞者のお知らせ

【ポスターの部】
○最優秀賞(3点)



新 優雅さん(良元小 3年)



池本 央葉さん(小浜小 4年)



市川 暖人さん(長尾中 1年)

○優 秀 賞(6点)

久米 悠二郎さん(安倉小 2年)・篠原 由莉さん(末広小 2年)・長澤 澄香さん(長尾小 4年)
村上 琴都音さん(安倉北小 5年)・吉田 杏樹さん(宝塚中 3年)・栗宗 希光さん(安倉中 1年)

【標語の部】

○最優秀賞(4点)

阪田 七美さん(末広小 3年) 『 いじめても いじめられても なくこころ 』
中村 白さん(美座小 4年) 『 忘れない 助けてくれた その勇気 』
上農 美涼さん(南ひばりガ丘中 3年) 『 SNS 誰かを追い込み SOS 』
伊藤 勲さん(市民) 『 こどもの目 大人の心の 審査員 』

○優 秀 賞(8点)

向川 結葵さん(良元小 3年)・南 綾音さん(雲雀丘学園小 2年)・富田 彩永さん(小浜小 6年)
深井 咲花さん(丸橋小 4年)・田中 彩波さん(光ガ丘中 1年)・佐藤 晴美さん(光ガ丘中 3年)
芝 智恵子さん(市民)・福住 恭子さん(市民)

【作文の部】

○最優秀賞(4点)

児島 遥斗さん(丸橋小 3年) 『 妹の車いす 』
富田 大翔さん(安倉北小 6年) 『 だれもが住みやすい社会にするために 』
柴山 颯太郎さん(中山五月台中 3年) 『 障害者認介護 』
吉田 菜歩さん(雲雀丘学園高 1年) 『 コップが一杯になるまで 』

○優 秀 賞(8点)

藤村 美優さん(安倉小 3年)・本城 七佳さん(山手台小 3年)・渡辺 結葉さん(安倉小 4年)
今井 美佑さん(長尾台小 5年)・中村 友貴歩さん(南ひばりガ丘中 1年)
貞友 愛純さん(南ひばりガ丘中 3年)・堀内 春花さん(雲雀丘学園高 1年)・中村 美智代さん(市民)

【写真の部】

○優 秀 賞(1点)

菅原 力生さん(高司中 3年) 『 キズナ 』



※ 最優秀賞・優秀賞受賞者のみを掲載しています。

※ 佳作を含めた全受賞者は、下記の宝塚市のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp> 【ページID: 1001134】

ホーム > 教育・子ども・人権 > 人権・平和 > 人権 > 宝塚市人権・同和問題啓発入賞作品



【宝塚市長表敬訪問】

御殿山中中学校2年 中島 美代さんの『 本当に大切なのは 』
が、第37回全国中学生人権作文コンテスト 法務省人権擁護局長賞
を受賞されました。

第7回 宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」

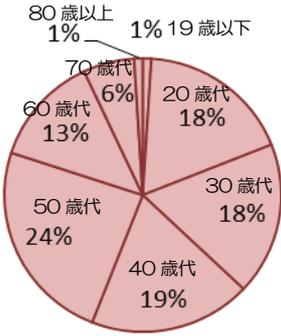


安倉中学校吹奏楽部の演奏

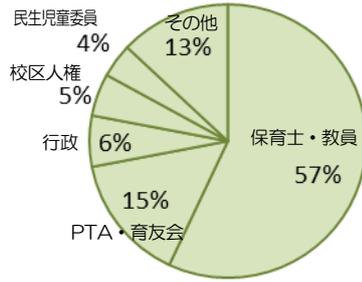
1月20日（土）に開催された研究大会には、226名の参加がありました。
安倉中学校吹奏楽部の演奏に始まり、その後8つの分科会に分かれ、報告者から貴重な実践や体験のお話を聞きました。どの分科会も参加者による熱心な話し合いと交流がおこなわれ、多くの成果を得ることができました。

参加者のアンケート結果と感想を紹介します。 【アンケート回答者：152名】

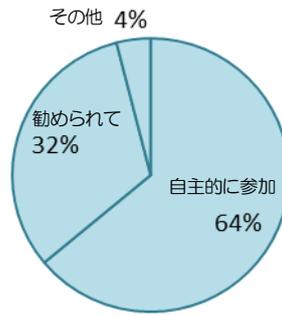
参加者の年齢構成は？



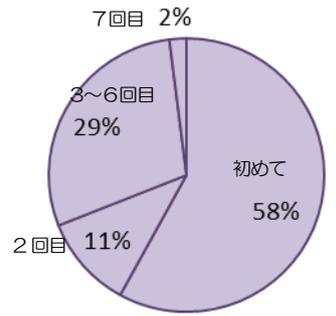
参加者の所属構成は？



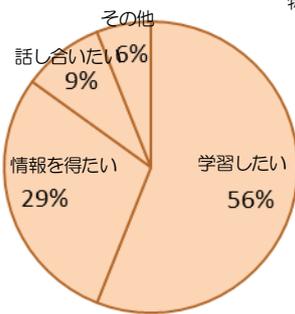
参加については？



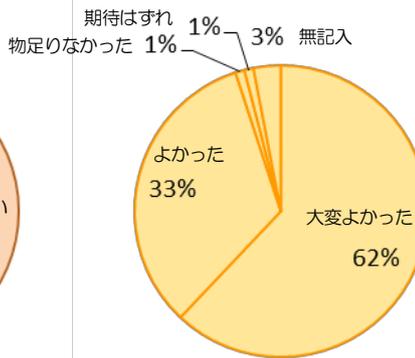
何回目の参加ですか？



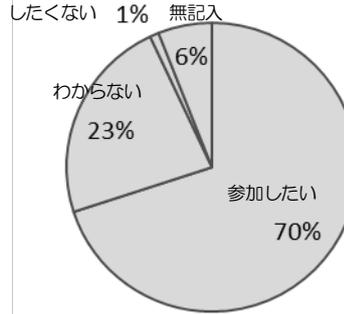
参加の目的は？



分科会の内容は？



来年も参加しますか？



分科会の様子

◆ 分科会別参加者の感想（アンケートから抜粋） ◆

①「子どもの人権について考える」より
私の学級の不登校生にどう関わればいいのか悩んでいましたが、この会に参加して自分自身がもっと思いを伝えて関わっていくことが大切だと改めて感じました。（20歳代）

②「部落差別について考える」より
様々な立場の方との出会いがあって学びがありました。部落問題についてまだまだ勉強しなければなりません、これからも出会いを大切に頑張っていきます。（20歳代）

③「障がいのある人との共生」より
普段の生活では出会わない方々とお話できて新鮮でした。障害があるなしに関わらずコミュニケーションの必要性と広い視野で考えることの大切さを感じました。（30歳代）

④「在日外国人について考える」より
在日外国人の方から、実際にしんどさを体験されたことを聞いて非常に勉強になりました。いろんな人が住みよい社会にしていく必要性をとて強く感じました。（30歳代）

⑤「若者の挑戦と未来」より
「待つことの大切さ、それも無駄ではない」が心に残りました。友達に上手に伝えられるか分かりませんが、楽しいと思うことを一緒に見つけたいと思います。（40歳代）

⑥「さまざまな性について考える」より
数年ぶりに参加しましたが、LGBTに対する宝塚市の取組みが少しずつでも進んでいると感じました。他市からの参加ですが宝塚の取組みに注目しています。（30歳代）

⑦「生徒たちと考えるメディアの中の人権」より
これから自分の子どもたちにスマホを与えるのにいろいろ参考になりました。家でも親子のコミュニケーションを大事に、今日聞いたことを話したいと思います。（40歳代）

⑧「学校園所の人権教育を考える」より
道徳についてみんな同じようなことで悩んでおられるのだと思いました。待つだけでなく分からないことを聞いて学んで子どもたちに返していきたいと思います。（20歳代）

夢をもてる子どもに



みなさん、自分は好きですか？

みなさん、夢や希望・目標はありますか？

みなさん、「自分さがしの旅」をはじめませんか？



「夢」を【花】に例えると…。

「夢」⇒【花】

【栄養】⇒「日頃の物事への向き合い
方をふりかえり考え、心で感じること」
(勉強・行動・努力・助け合い 等)



未来への可能性を自分で捉え、日常をふりかえる材料とし、現在の自分自身を見つけることが「自分を大切に、人を大切に」することにもつながる「夢」

自分を大切に自らの可能性を発揮するための努力。家族・先生・友だちをはじめとする多くの人たちの支えに対する感謝。このようなことを継続させようと意識する(考える)【栄養】

【水】⇒「素直な心」(素直さ・受け入れる姿勢)

感じる心、受け入れる心
「ありがとう…。ごめんなさい…
もう一回やってみます…。」
等という【水】

【光】⇒「周りの人たちの温かい愛情」
(自分のことを考えてくれるからアドバイスや注意をしてくれる)

アドバイスや注意。時には、しかられることも…。【光】



夢を持ち、夢をあきらめず、夢を追いつけてください。

子どもたちの長い人生の中で、「夢」実現の如何は問わず、
「自分さがしの旅」を続けてほしいです。



【高司小学校 谷口 史則】

愛メッセージで伝えるおとなに

「勉強しなさい」 ⇔ 「勉強していない様子を見ると心配だなあ。」

「静かにしなさい」 ⇔ 「電話をしているから、静かにしてくれると嬉しいなあ。」

同じことを伝えていますが、何が違うのでしょうか…。それは「主語」です。

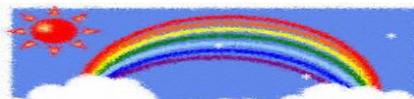
「あなたは勉強しなさい」 ⇔ 「私はあなたが勉強していない様子を見ると心配だなあ。」

あなたが主語になるYOUメッセージは、言われた相手が命令・強制のように感じます。

私が主語になるIメッセージは、言われた相手が自分で考えて行動できるので物事を前向きに捉えられます。

お互いにIメッセージ(愛メッセージ)で話して思いを伝え合うことで、相手への理解が深まり、共感することに結び付き、この共感こそが子どもたちの行動を変えるエネルギーの源になるのではないのでしょうか。

【良元小学校 澤田 強志】



～ 2018(平成30)年度の主な開催日程 ～

- ◇ 宝同協定期総会
5月17日(木) ソリオホール
- ◇ 阪同教研究大会
7月28日(土) 伊丹市立北中学校
- ◇ 兵人教中央大会
9月30日(日) 兵庫県立姫路東高等学校
- ◇ 全同教研究大会
11月17日(土)～18日(日) 滋賀県大津市

◇ 編集後記 ◇ 人権・同和啓発作品は、心のこもった素晴らしいたくさんの応募がありました。今号ではその中の一部を紹介しました。これらの作品を通して「人権」をより身近なものとして捉えていただければ幸いです。



宝同協だより「芽生え」編集委員

津国 千恵子・黒田 全英・梅田 美佐子
澤田 強志・谷口 史則・斉藤 康二郎・池澤 径子
小玉 いつ子・大塚 亜紀・和久 有彦・譽田 礼子